

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	イラストレーション実習3	
科目基礎情報					
開設学科	グラフィックデザイン科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	選択	時間数	120時間
単位数	4単位			授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	ローガン・ハザード		実務経験の有無・職種	有 イラストレーター	
学習目的					
この科目は、課題制作を通じてイラストレーションの技術や表現力の向上・描画力・構成力を高めることを目的とする。イメージを形にしていけるための画材の使い方、様々な技法について解説や実技体験をし各人のスタイルも模索していく。そしてイラストレーター・デザイナーとして仕事をする上で必要な実践力を身につける。					
到達目標					
この科目では以下のことを目標としている。各々の独自性を生かしたイメージを、ひとつの作品として表現すること。イラストレーションの制作において模索・探求し表現の幅を広げること。デザインの現場での実践を意識し、教員・学生間でコミュニケーションをとりながら制作できること。提出期限を厳守し、完成した作品について明確に説明できること。					
教育方法等					
授業概要	この授業では絵の具を中心に描画のための様々な技法を学ぶ。また、自己のイメージを作品として表現することを楽しみ、制作の意図を明確にすることで作品に対して責任を持つ。				
注意点	この授業では、イラストレーションの実作業のプロセスを重視する。完成度の高い作品制作を目指し、各自で授業の事前準備や事後のフォローなどを意識して取り組むことを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	60%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	授業オリエンテーション		課題説明		
2回	課題①		作画について/様々なタッチで描く 作風の違い		
3回	課題①		作画について/様々なタッチで描く ラフスケッチ		
4回	課題①		イラストを描く A3サイズ		
5回	完成		プレゼンテーション 講評		
6回	課題②		写真を使った構図/絵コンテの作り方		
7回	課題②		写真を使った構図/絵コンテの作り方		
8回	課題②		写真を使った構図/ラフスケッチ		
9回	課題②		イラストを描く A3サイズ		
10回	完成		プレゼンテーション 講評		
11回	課題③		作画について/構図・背景・人物		
12回	課題③		ラフスケッチからカラードローイングまでの行程		
13回	課題③		カラスケッチ/家財を使ってイラスト制作A3サイズ		
14回	課題③		カラスケッチ/家財を使ってイラスト制作A3サイズ		
15回	完成		プレゼンテーション 講評		